

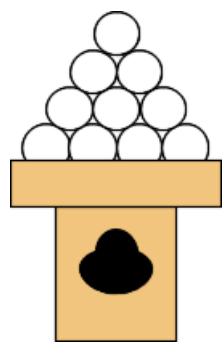
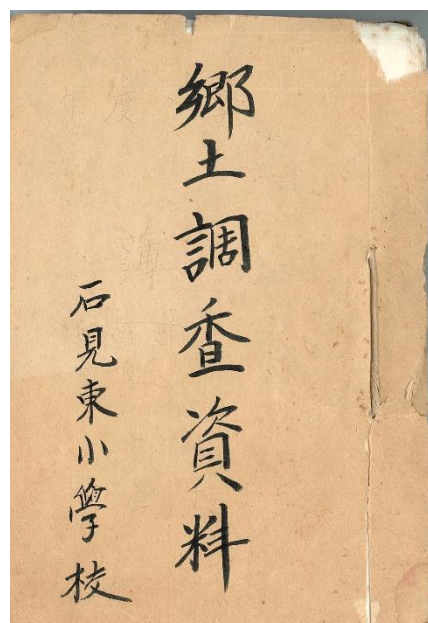
# 石見東小学校の 郷土調査資料からわかる年中行事

松江工業高等専門学校 教授 鳥谷 智文 さん

今から約70～80年前の日南町では、1年という区切りのなかで、先人たちから受け継いできた多くの年中行事を地域や家庭で守り続けてきました。

石見東小学校では、それらの年中行事や伝統・風習などについて昭和12年と昭和24年の二度にわたり調査が行われています。この二つの調査の記録を比較すると、約10年間の間に行事が簡略化するなどの現象がみられます。この間は「戦争」が勃発しており、これを節目に伝統や風習などが変化していったのでしょうか。戦後70年以上を経過し、現在では行われなくなった行事もあるように思います。

戦前、戦後の様々な伝統行事の姿を「石見東小学校郷土調査資料」から読み解きます。



## 「郷土調査」について

昭和11年11月4日付にて、鳥取県より県下の尋常高等小学校あてに「郷土調査」を行うよう通達。これを受け、それぞれの尋常高等小学校の教職員が中心となり、校区の様々な事柄について調査が行われた。調査の具体的な内容については指示がなく、調査の中身はそれぞれの学校に任された。

申込み不要  
参加無料

令和2年

10月8日(木)午後6時半～ 午後8時

日南町総合文化センター 多目的ホール